

1 カウンセリング～毛髪診断



希望のスタイルと毛髪診断をします。
縮毛矯正歴、毛髪損傷の有無、ダメージレベルのチェック、
カラー・ブリーチの有無をみて下さい。
(ぬらした時に、指にまきつくような毛は施術できないので、トリートメントのみとなります。)
※どこにどの薬剤を使うか判断して下さい。

2 プレシャンプー

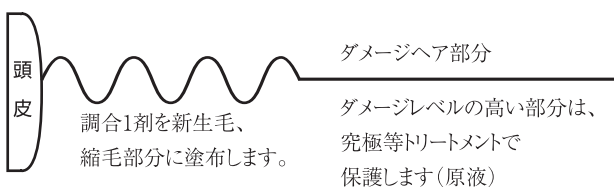


3 ドライング



CMC ローションを塗布して下さい。
ハンドラ等で新生毛～中間毛部までは充分に
乾かして下さい。

4 プレトリートメント



5 ストレートパーマ1剤塗布



(A) 酸性ストレート1剤 60g～80g (B) アクセラ 0ml～40ml
(C) 超酸性ストレート (D) 2PCTトリートメント
(A)+(B)
調合比は(A):(B)=1:0～1:1(最大)の範囲で調合して下さい。
(A)+(D) (C)+(D)
調合比は2PCTトリートメント コントロール表参考
※超酸性ストレート・VXストレート1剤にはアクセラは使用しません。
ブリーチ毛などハイダメージは超酸性ストレートで対応して下さい。
既ストレート部分には、くせのもどりがない、もしくはパサパサしてツヤがない場合は、ダメージコントロールしながら、超酸性ストレートを塗布して下さい。(最低10分は置いて下さい)
※ダメージのひどい場合はアクセラは使用しないで下さい。
ビビリ毛の原因となります。

6 プロセスタイム



ラップをして15分～25分
健康毛は加温して下さい。
(加温の場合40℃前後です)
軟毛は少しはやめのチェックになります。
超酸性ストレートは、最低10分は置いて下さい。

7 ストレート軟化チェック



縮毛の強い部分の毛髪の薬液を取り、コムスルー等で
ストレート状になる事を目安とします。
(ダメージの強い部分はそっとかして下さい)うねりがなければOKです。うねりが残っている場合は、残液があれば塗布して下さい。ラップを被せて再度時間を置いて下さい。
自然放置でもかまいません。

8 1剤プレーンリンス



シャワーの水圧で洗い流します。
軽く泡立ててシャンプーします。そのあと究極を髪全体にもみこんで下さい。泡立ちますのでしっかりもみこんで下さい。
お湯をためながらチェンジリンス。トリートメントが残る感じで、そのままあげて下さい。水分は軽くふきとって下さい。
(ダメージ毛はぬるま湯で)

9 ドライング



CMCミストをたっぷり塗布し、全体をコーミングして下さい。(仕上がりのイメージで)
ダメージの激しい方はその状態で10分間
遠赤ドライモード(クリープタイム)
毛流を整えながらドライング。9割ドライで
毛先はしっかり乾かして下さい。
その後ツインプラシブローお勧めします。

10 アイロンプレス&スルー



アイロン温度180℃設定
(ダメージ毛は120℃～140℃)
1cm幅でスライスして髪の毛を軽く挟み
テンションをきかせて根元から毛先まで
時間をおきながらすべらせていくように、
丁寧にプレススルーします。
(うちに入れない場合は、毛先をうちに入れて下さい。)

11 ストレートパーマ2剤塗布



髪全体に2剤原液をつぶりぬって下さい。
酸化不足はよくないので、10分～15分置いて下さい。
※ダメージ毛は、2剤に究極を10%混ぜて下さい。

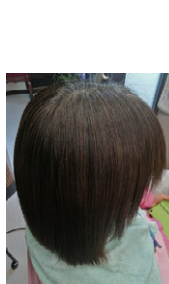
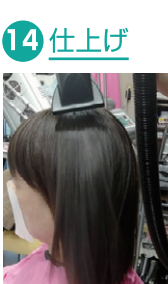
12 2剤プレーンリンス

2剤をしっかり流して下さい。



トリートメントホームをつけて下さい。
(ダメージ毛の場合は、究極をトリートメントホーム前にしっかりもみこんで下さい)

13 コンディショニング



CMCミストをたっぷりふって、完全ドライ。
アイロンで髪全体を軽くスルー。
仕上げにセラムを軽く毛先につけて完成です。